

入 札 心 得

(総則)

第 1 条 機器（GC／MS 用多変量解析システム）の賃貸借に係る入札に当たっては、関係法令等別に定めるもののほか、この心得を承知してください。

(入札保証金)

第 2 条 入札保証金は、免除します。

(入札の方法)

第 3 条 入札参加者は、作成した入札書を封筒に入れ、入札執行人の指示に従い入札箱に投入しなければなりません。

(入札代理)

第 4 条 入札参加者は、代理人を入札に参加させようとするときは、当該入札の執行前にその旨を証する委任状を入札執行人に提出しなければなりません。

なお、委任状の様式は任意とします。

2 代理人は、当該入札について 2 人以上の者の代理をすることはできません。

(入札の辞退)

第 5 条 入札参加者は、落札者の決定前までは、申し出によりいつでも入札を辞退することができます。

なお、入札辞退を理由に以後の指名等について不利益な取扱いを受けるものではありません。

(公正な入札の確保)

第 6 条 入札者（代理人を含む。以下同じ。）は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22 年法律第 54 号）等に抵触する不正な行為を行ってはなりません。

2 入札者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札者と入札価格または入札意思について、いかなる相談も行わず、独自に入札価格を決めなければなりません。

3 入札者は、落札者の決定前に他の入札者に対して入札価格を意図的に開示してはなりません。

(入札書の書換え等の禁止)

第 7 条 入札者は、その提出した入札書を書換え、引換え、または撤回することはできません。

(無効入札)

第 8 条 次の各号のいずれかに該当する入札は、無効とします。

- (1) 入札書の記載金額その他入札要件が確認できない入札（文字の誤脱、汚染、と抹または改ざん等）
- (2) 入札書の記載金額を訂正した入札
- (3) 入札者の記名押印のない入札
- (4) 同一事項に対して、同一入札者から同時になされた 2 通以上の入札
- (5) 入札書の算出等内訳に誤りがある場合および入札書の記載金額と内訳の合計金額が一致しない入札
- (6) 前各号のほか、特に指示した入札条件に違反している入札

(開札)

第9条 開札は、入札の終了後直ちに入札者、立会人の面前で行います。

(落札者の決定)

第10条 有効な入札を行った者のうち、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札者とします。

2 落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定します。

(契約の締結等)

第11条 落札者は、特に指示した場合を除き、落札の通知を受けた日から7日以内に契約を締結しなければなりません。

2 落札者が当該入札に係る契約を締結しないとき(前項の規定による場合を含む。)は、落札金額の100分の3以上の違約金を徴収します。

(契約保証金)

第12条 契約保証金は、免除します。

(不正行為に伴う損害賠償等)

第13条 入札に関して談合等の不正行為があった場合は、契約で定めるところにより契約を解除することがあります。この場合においては、契約を解除するか否かを問わず、賠償金として契約金額の10分の1に相当する額を徴収します。

[問合せ＝公益財団法人函館地域産業振興財団 研究支援課 TEL (0138) 34-2600]